

がん患者の就労に関する アンケート調査結果

島根県健康福祉部健康推進課
がん対策推進室

1 調査の対象

- ① がん患者（罹患時に60歳未満で、就労していた方）
- ② 事業所

2 調査の内容

患者向け	<ul style="list-style-type: none">・ がん罹患後の就労への影響・ 就労に関する悩みの相談先・ 今後の就労の希望 …など21項目
事業所向け	<ul style="list-style-type: none">・ 私傷病に関する休暇休職制度の実態・ 仕事と治療の両立に向けた課題・ 今後知りたい内容 …など14項目

3 調査の期間

平成26年8月12日～11月30日

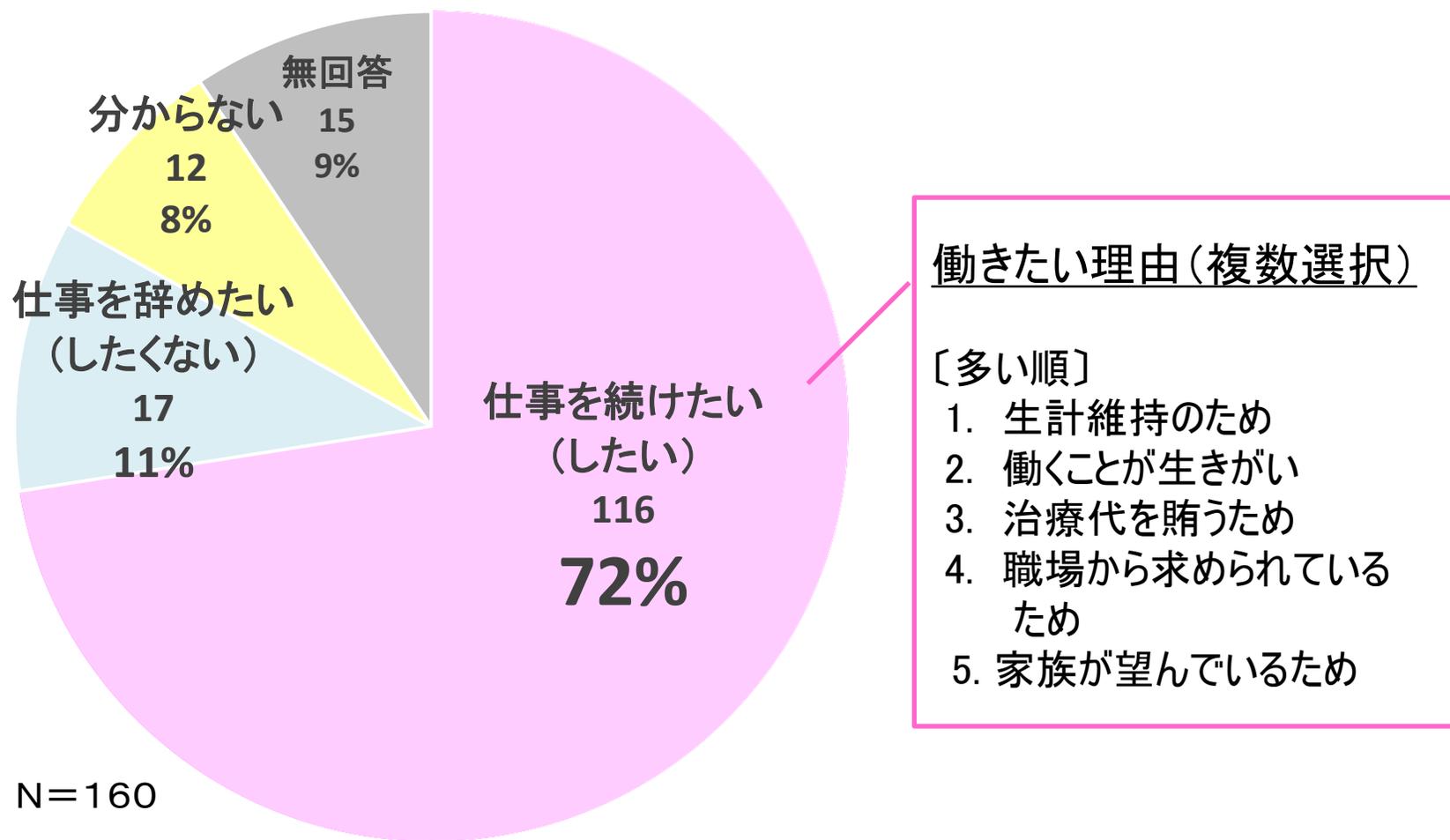
4 調査の方法及び回収結果

区分	調査方法	配布数	回答数	回収率
患者向け	病院やサロン等 を通じて手渡し	1,360	160	11.8%
事業所向け	事業所へ 直接送付	3,547	1,330	37.5%
合計		6,267	1,630	26.0%

主な調査の結果 (患者)

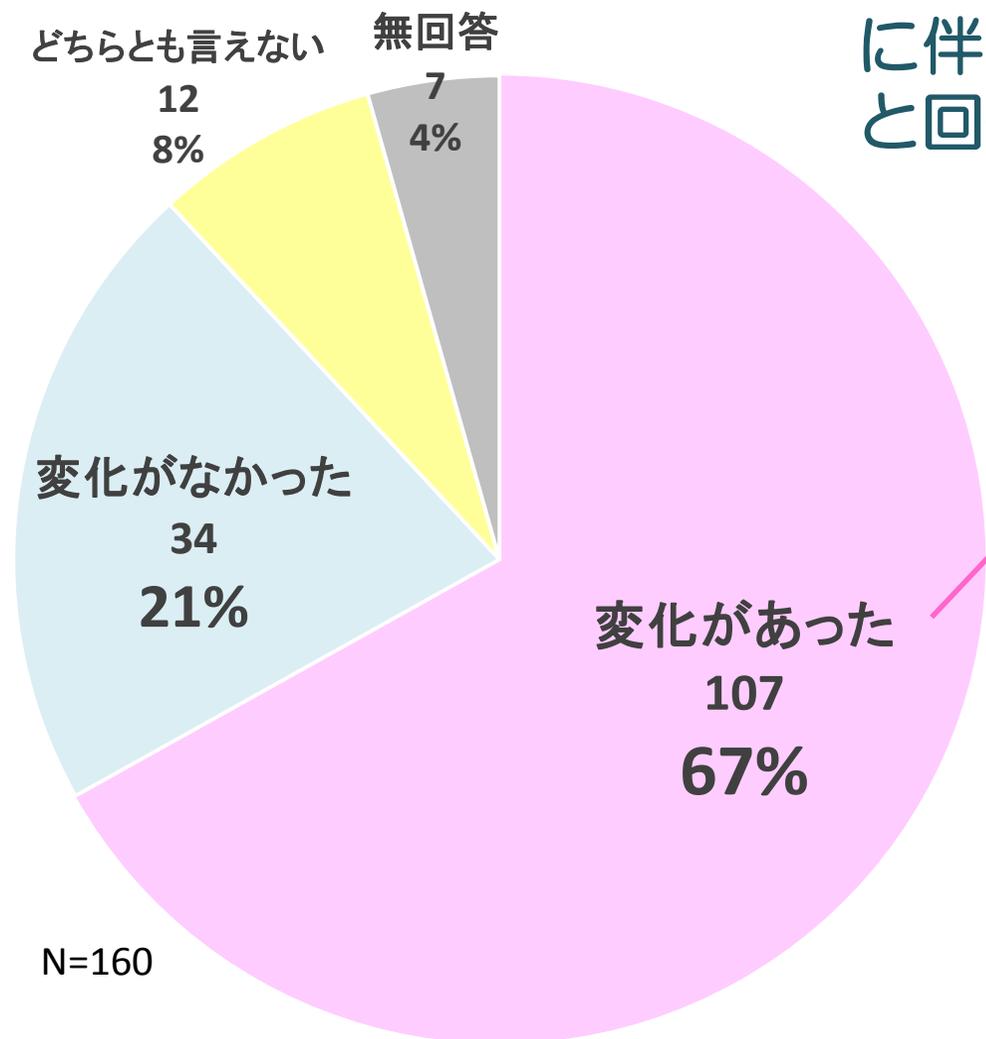
Q. あなたは今後、仕事を続けたい(したい)と思いますか？

がん患者さんの7割以上が「働きたい」と思っています



Q. がんになったことに伴い、働き方に変化がありましたか？

約7割が、「がんになったこと
に伴い働き方に変化があった」
と回答しています



変化の内容（複数選択）

〔多い順〕

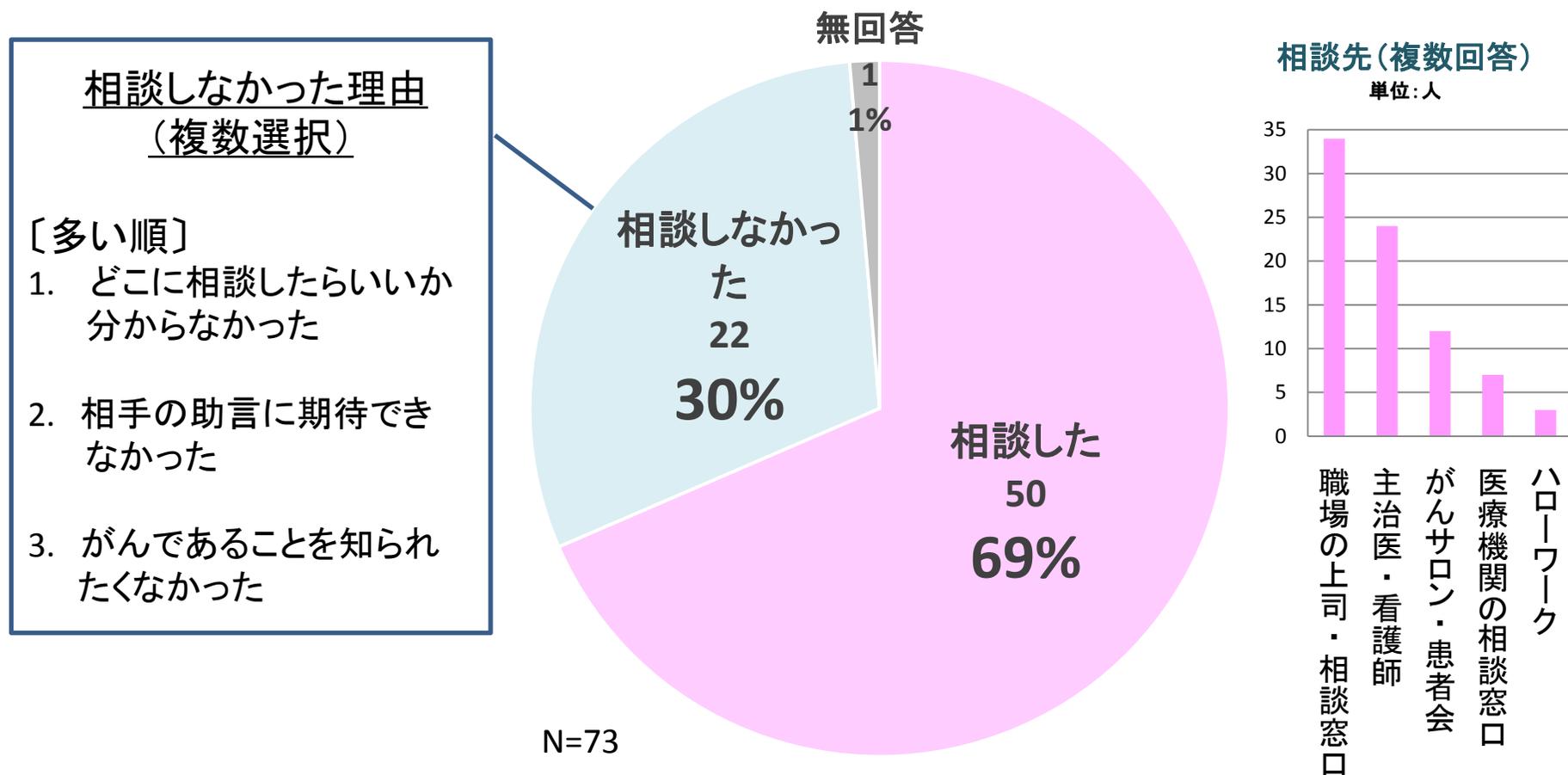
1. 検査や治療のため休職した
2. 検査や治療のため休暇をとった
3. 退職した
4. 勤務時間を短縮、又はずらした
5. 部署を異動した

Q. 治療と仕事を両立する上で困難・心配
だったことは何ですか？（多い順）

1. 収入の減少
2. 休暇、休職の取りづらさ
3. 体調や治療の状況に応じた柔軟な勤務
4. 職場で病気や治療のことを話しづらい
5. 職場内に相談できる場所がない

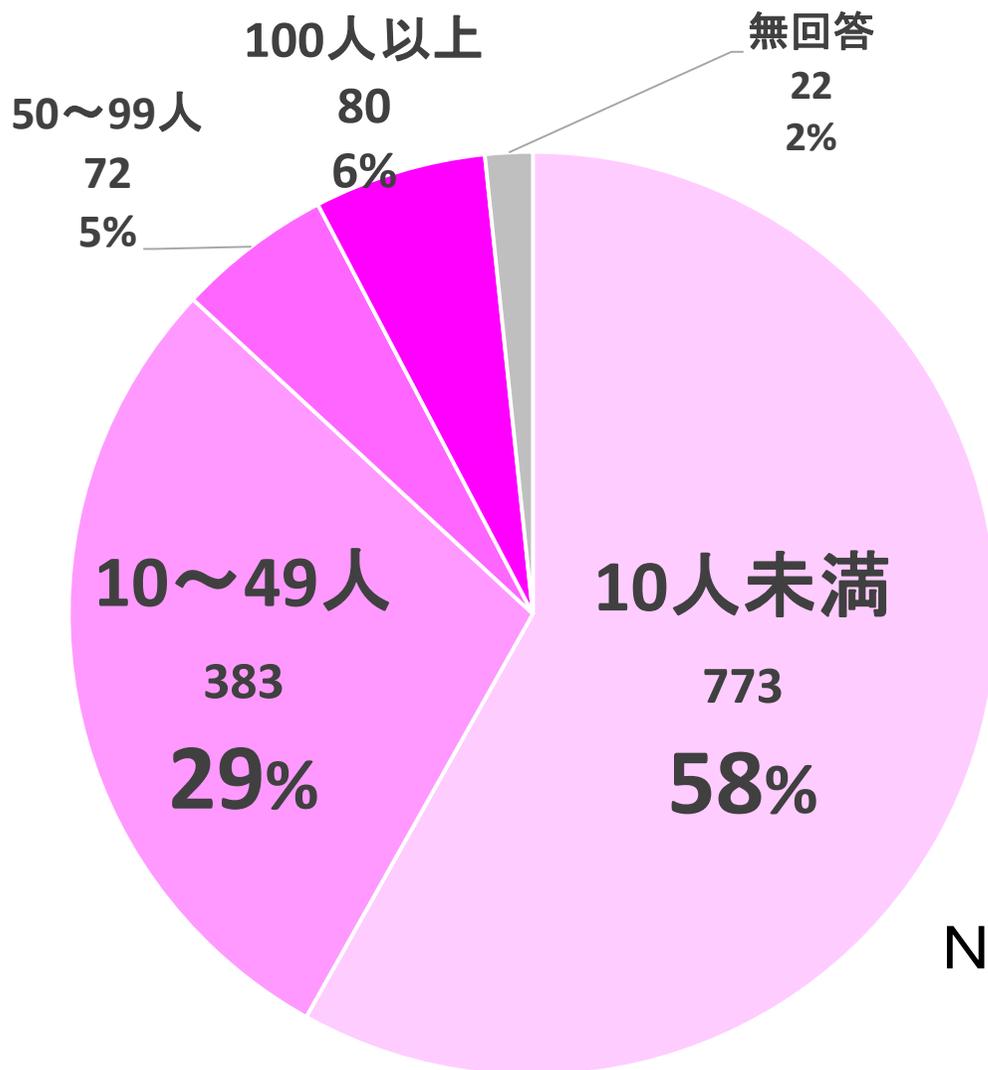
Q. 就労の悩みについて相談したいと思った人が、実際に相談したかどうか？

相談したいと思ったことがある人のうち、3割は相談していない



主な調査の結果 (事業所)

回答事業所の従業員規模(パート・アルバイト等を含む)



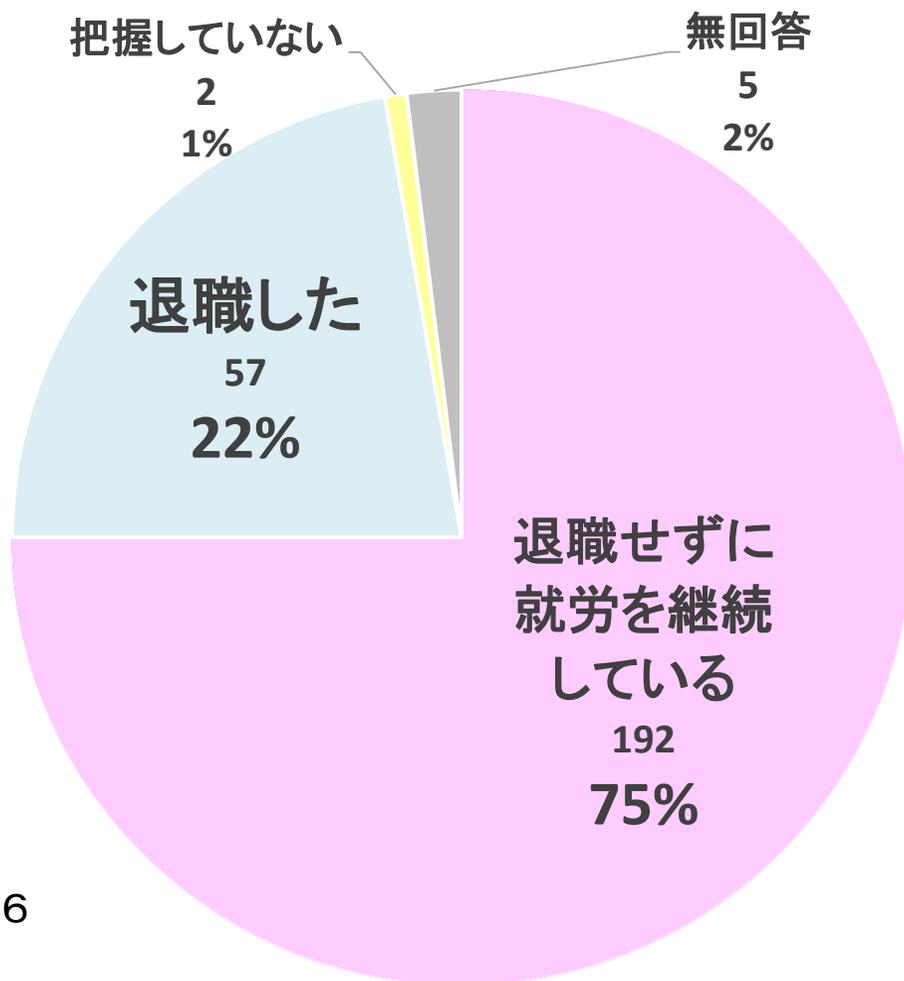
約6割は10人未満
約9割は50人未満

従業員規模別の構成割合は
県内の実態に近いものにな
っています。

N=1,330

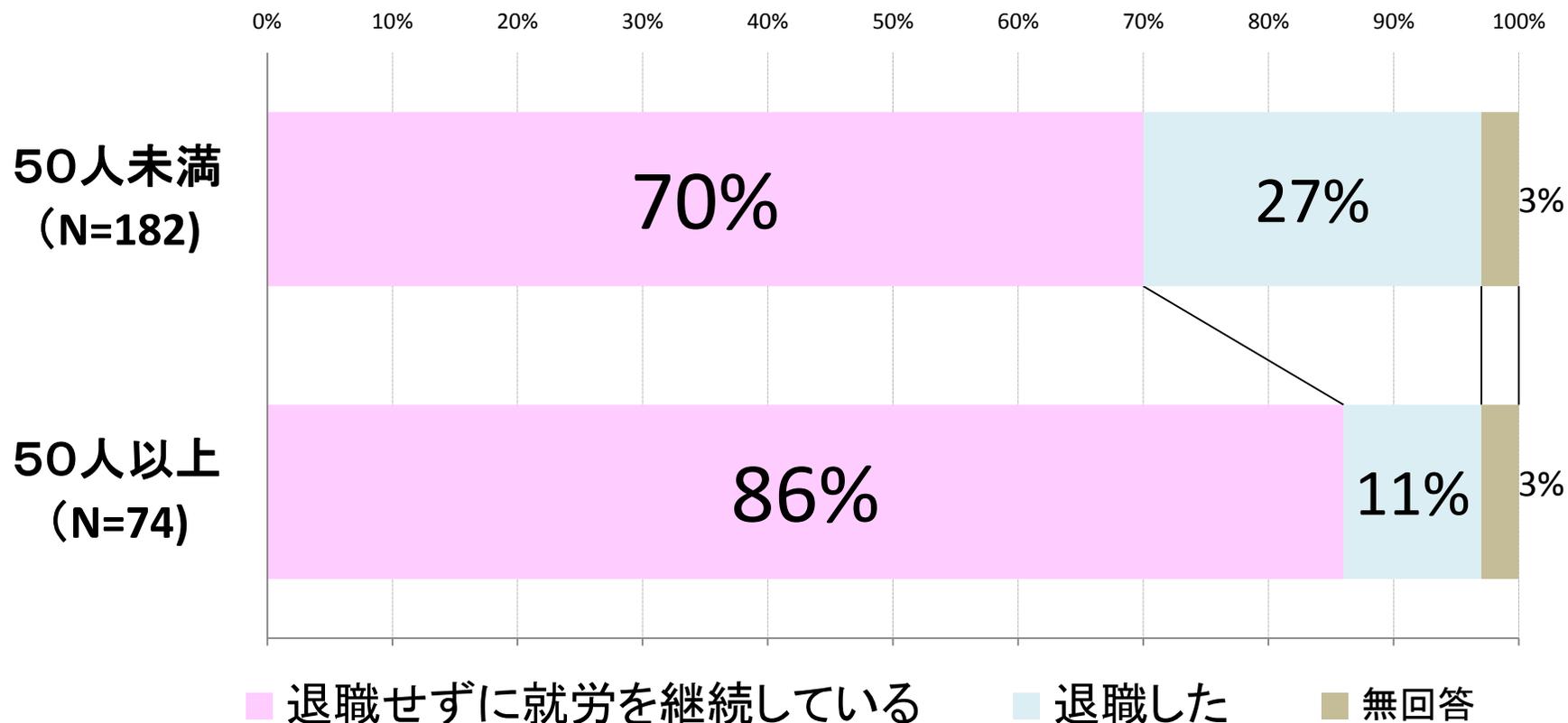
過去5年間にがんに罹患した従業員の就労状況

4人に3人は就労を継続しています



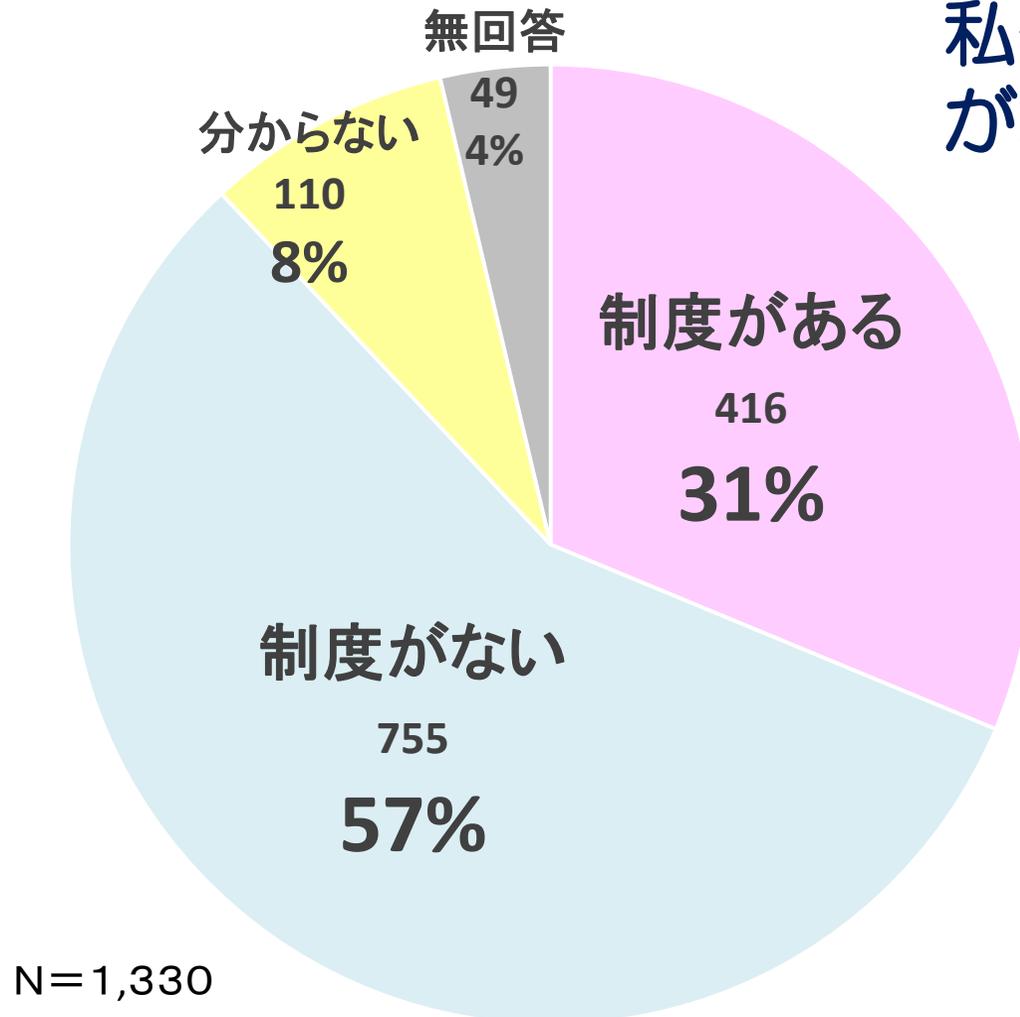
N=256

過去5年間にがんに罹患した従業員の就労状況〔従業員規模別〕



従業員規模が小さいほど就労継続率は低い傾向

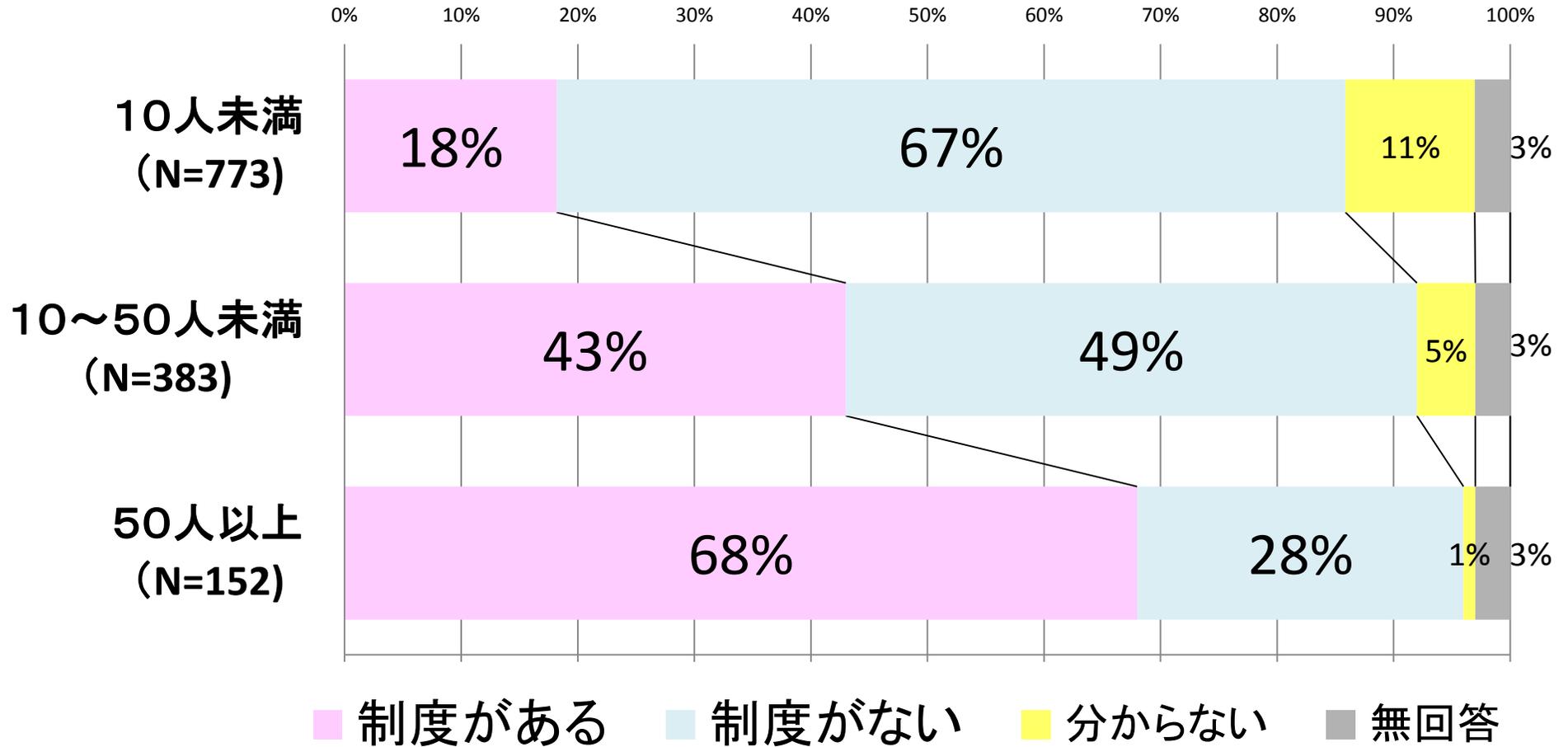
私傷病休暇・休職制度の有無



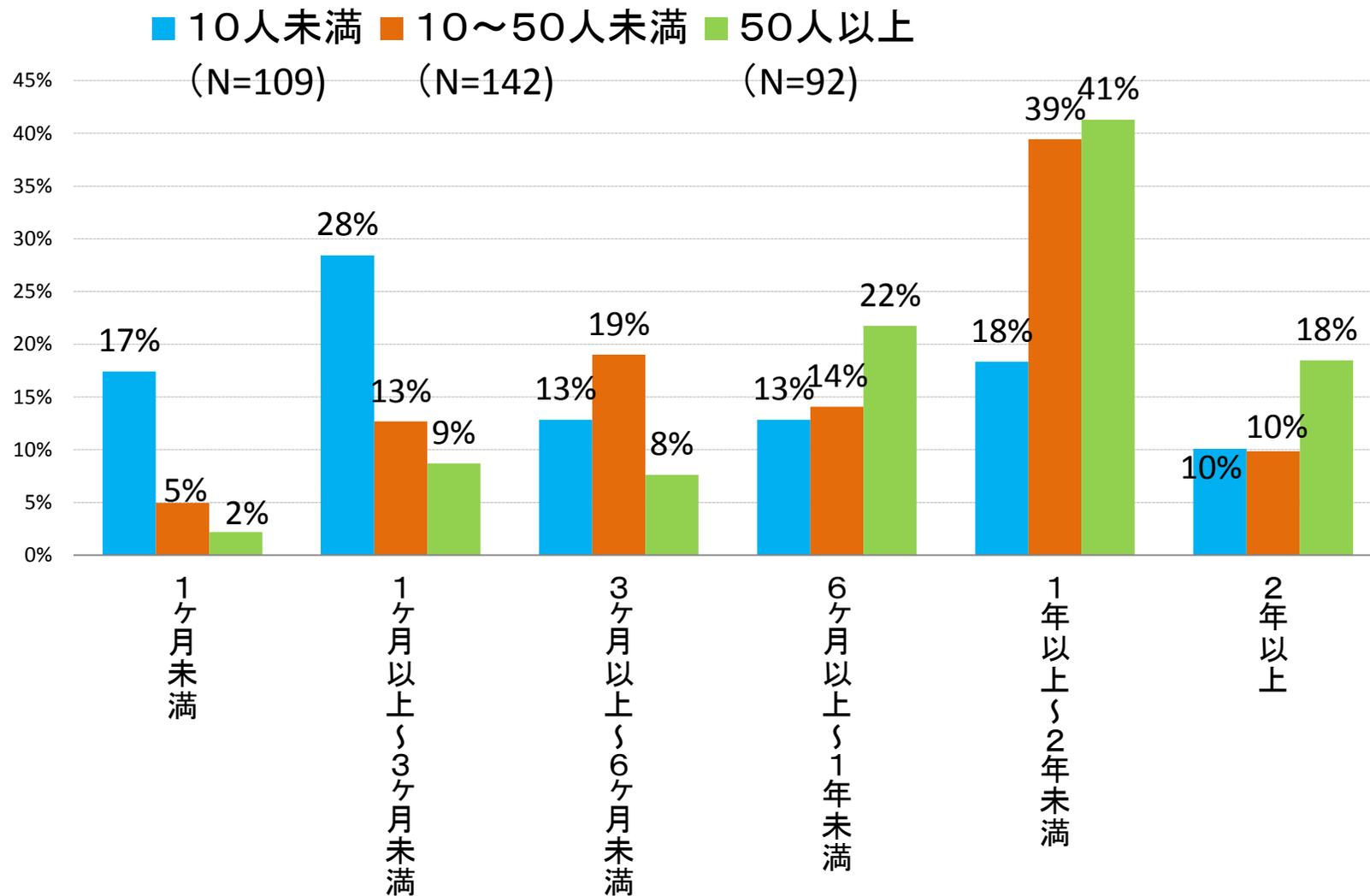
私傷病休暇・休職制度がある事業所は約3割

※ 「私傷病」とは、仕事以外の理由で生じた病気やケガ

私傷病休暇・休職制度の有無〔従業員規模別〕



私傷病休暇・休職の期間〔従業員規模別〕

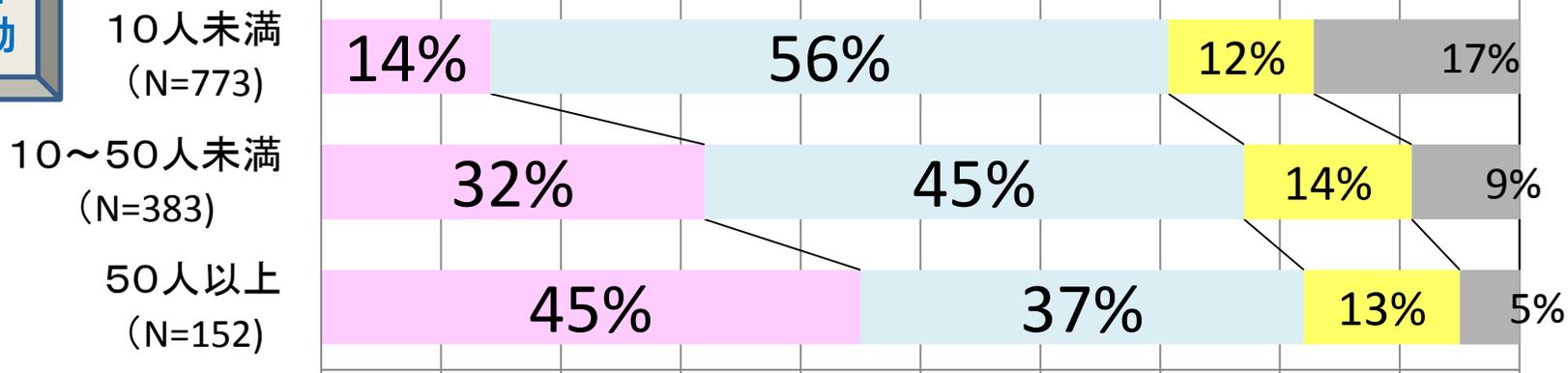


従業員規模が小さいほど、取得可能な休暇・休職の期間は短い傾向

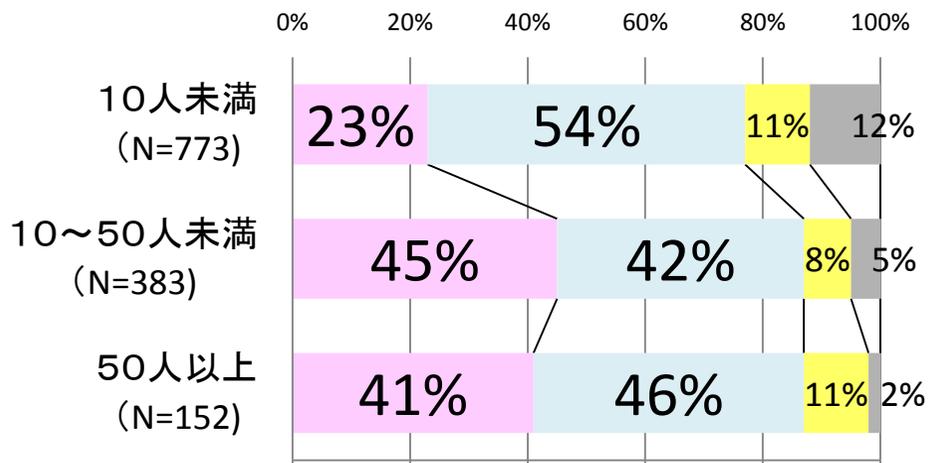
就労上の配慮や支援の制度化又は実績〔従業員規模別〕

■ ある
 ■ ない
 ■ 把握していない
 ■ 無回答

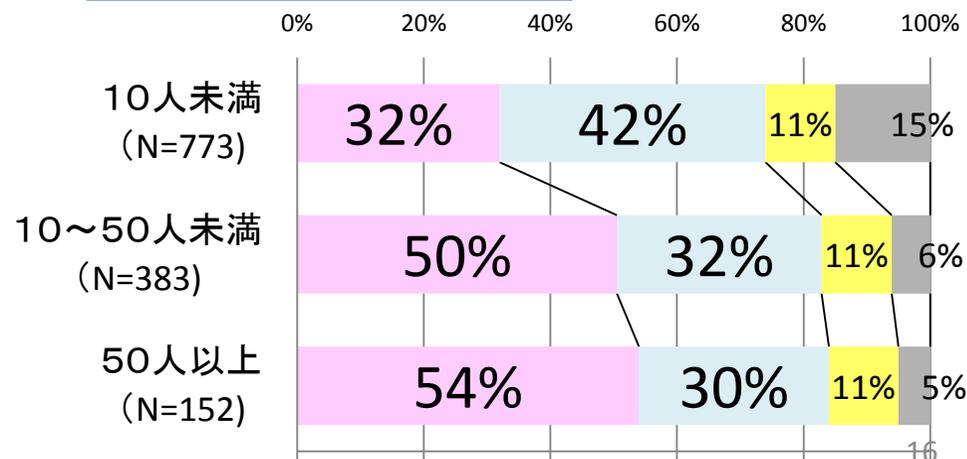
①希望部署への異動



②時間単位の年次有給休暇

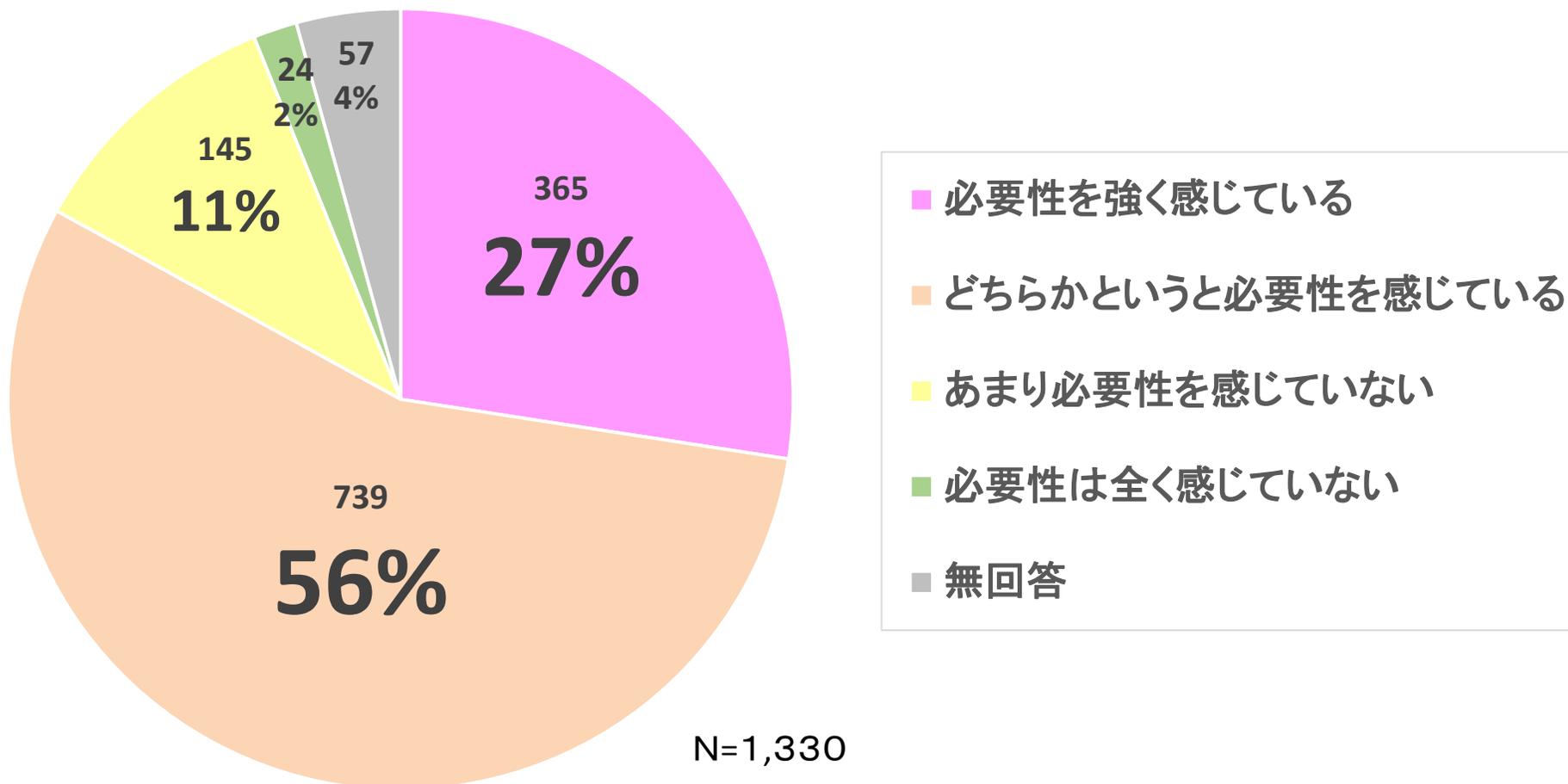


③勤務形態の変更

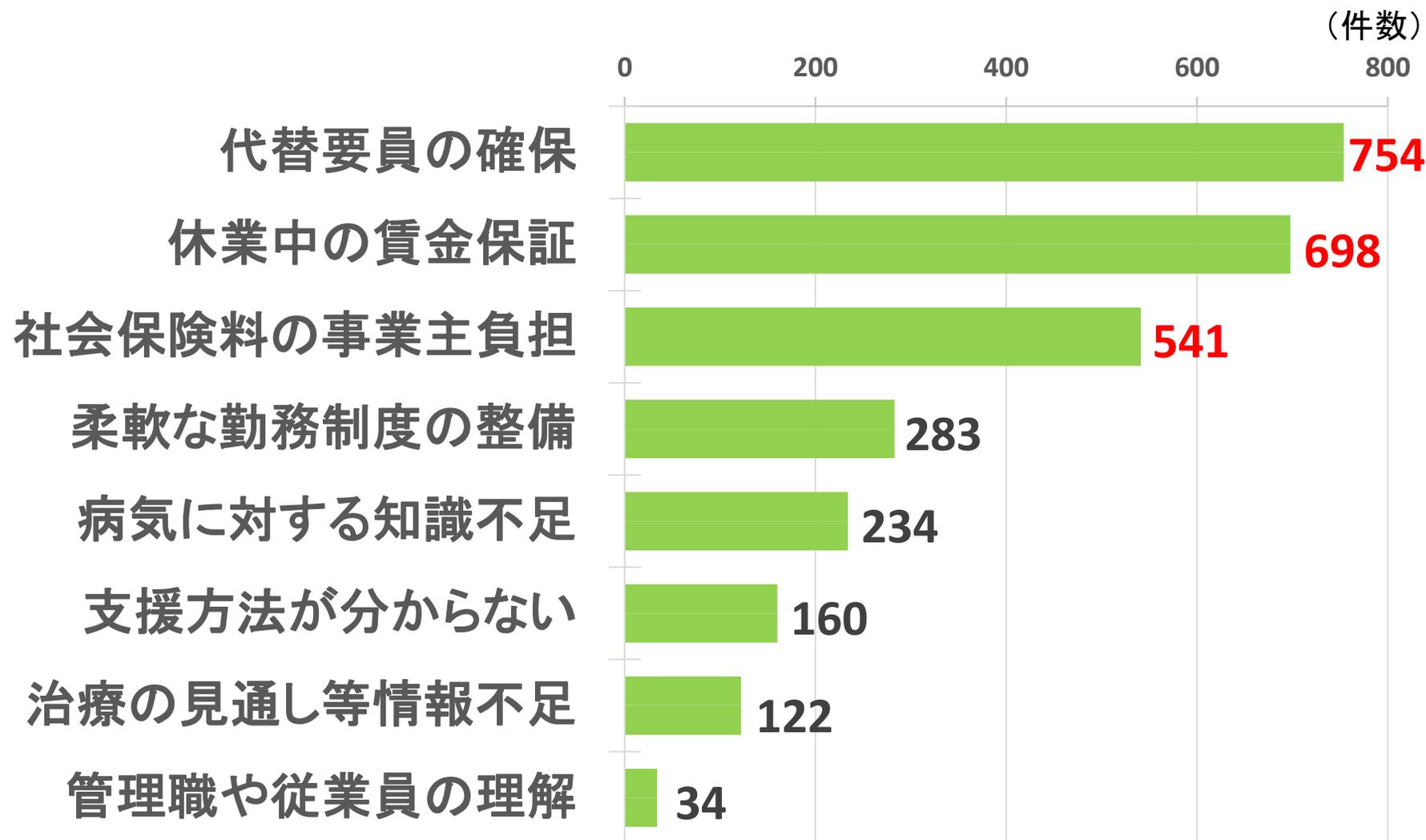


Q. 仕事と治療が両立できる職場づくりの必要性を感じますか？

8割以上の事業所が、仕事と治療が両立できる
職場づくりの必要性を感じています

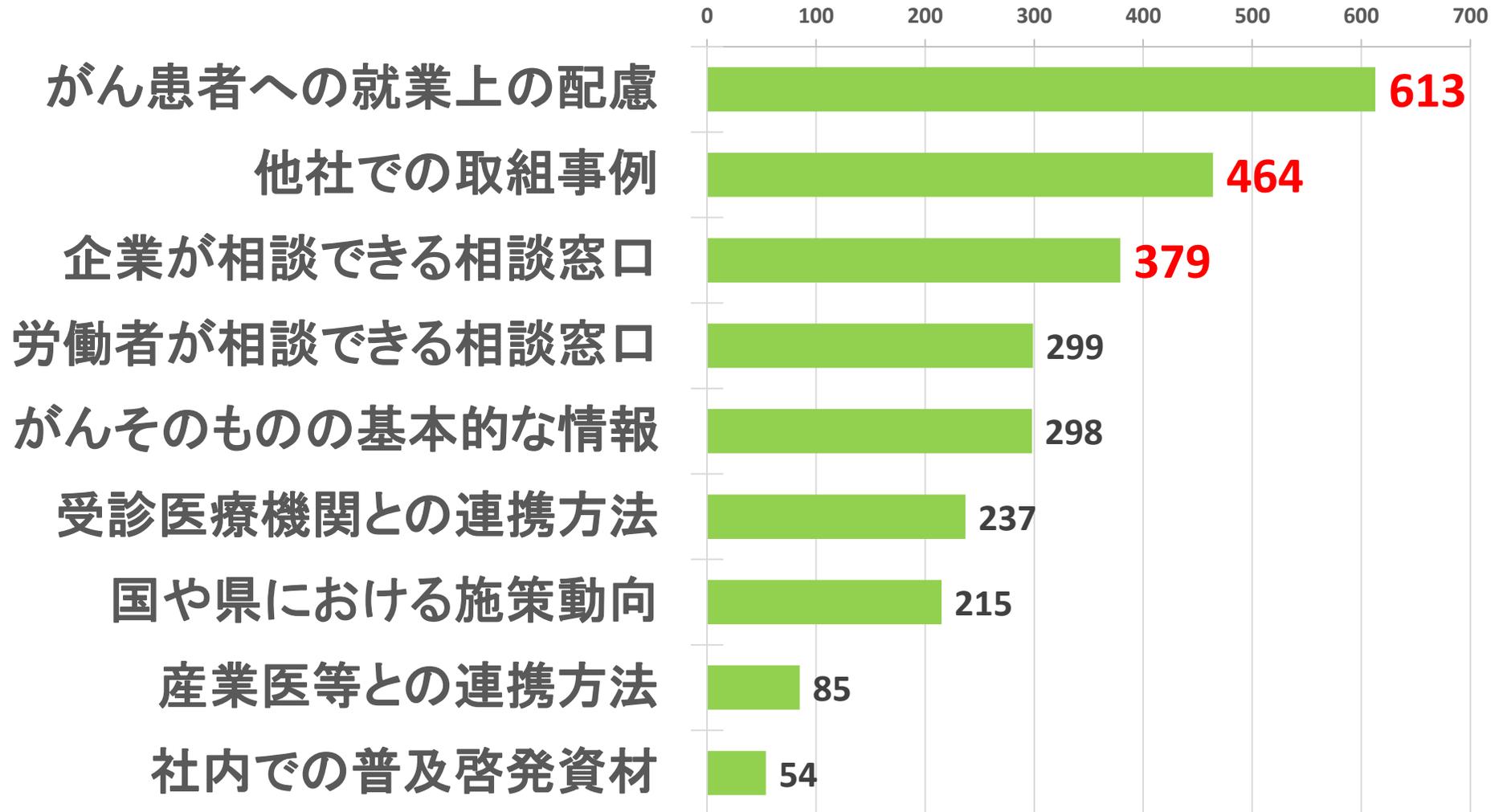


Q. 仕事と治療が両立できる職場づくりを進める上での課題（複数回答）

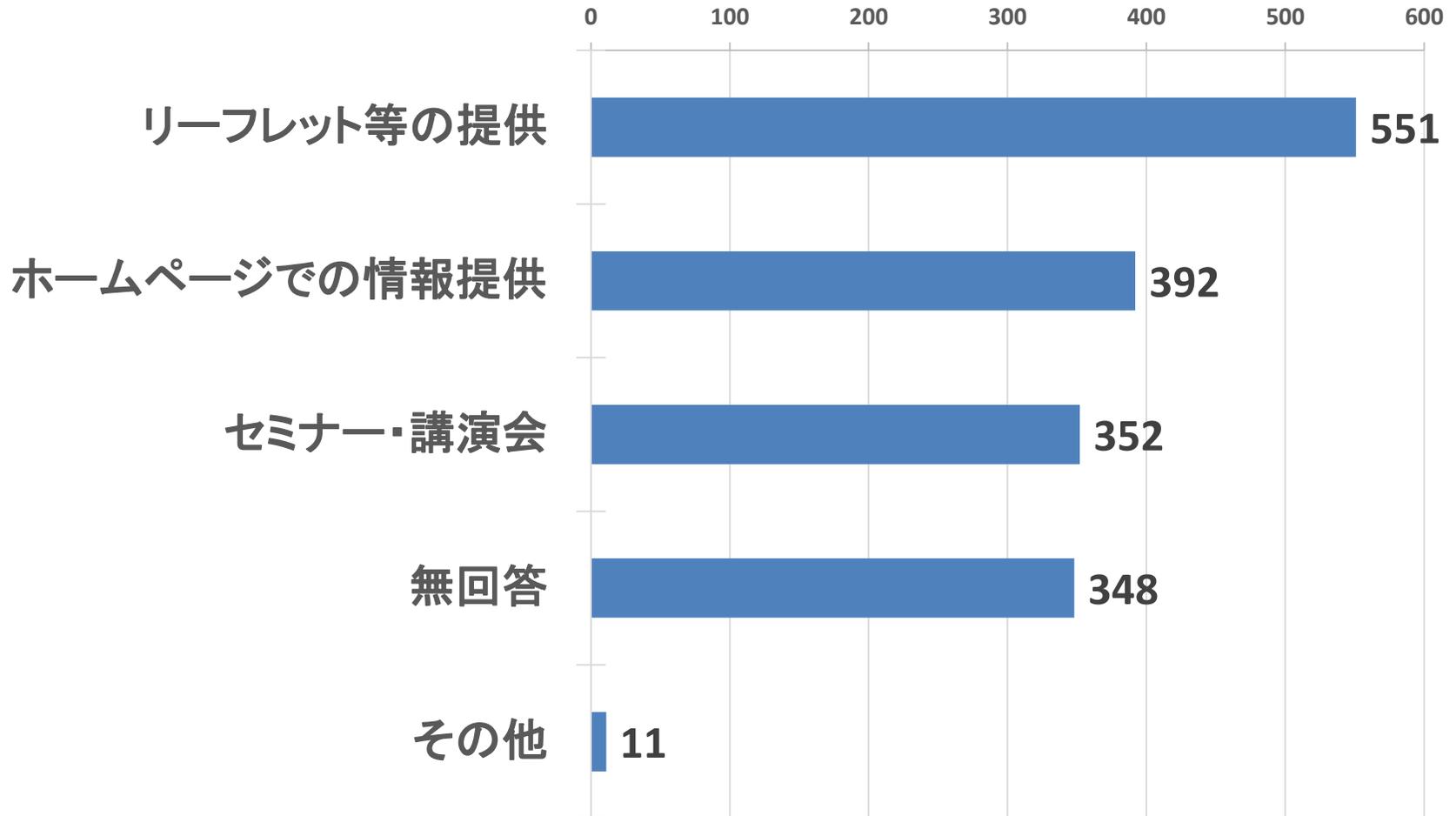


Q. 仕事と治療の両立を進める上で知りたい内容（複数回答）

（件数）



Q. 希望する普及啓発・情報提供の方法は？（複数回答）



患者のニーズ・課題 まとめ

- がんになっても**多くの患者は働きたい**と思っている
- 治療や体調の状況に応じて**休みが必要**
- もっと**柔軟な勤務がしたい**と思っている
- **収入が減少するのは心配**
- **相談先が分からない**

事業所のニーズ・課題 まとめ

- 就労支援の必要性は感じているけど・・・
限られた人員、資金の中で十分対応が出来ない
(例)代替職員の確保、休業中の賃金保証、社会保険料の事業主負担・・・など
- 従業員から相談を受けるけど・・・
 - どんなことに配慮すればいいのかわからない
 - どこに相談すればいいのかわからない
 - 他社ではどのように対応しているかわからない⇒ 就労支援に関する情報が欲しい

島根県で就労支援を進めるために・・・

- 患者及び事業所の意識は、既に実施されている他県などの調査結果の傾向と比較して、あまり変わらない

〔調査の先例〕 厚生労働省研究班、東京都、愛知県など

- 都会に比べると、島根県は従業員規模が小さい事業所が多い
 - ・ 休暇制度の整備が進みにくい
 - ・ 産業医等がいる事業所が少ない
 - ーなどは考慮すべき

アンケート結果の詳細は、島根県ホームページ 「しまねのがん対策」に掲載しています

しまねのがん対策

がん対策3つの柱

島根県ではがん医療の向上を願う患者や家族の声に応えるために、「がんの予防」「医療水準の向上」「患者支援」の3本を柱とした「がん対策」に取り組んでいます。



◆イベントカレンダー◆

2015年度			
1月	2月	3月	4月
5月	6月	7月	8月
9月	10月	11月	12月

しまねの病院

がん患者支援
がん医療水準の向上



がんを知る

しまねのがん対策医書



がんにならない
ために

がん検診



開催情報	
2015/02/03	島根大学医学部附属病院で「がん検診」をテーマとした講演会を開催しました。(PDF形式 / 260 KB)
2015/02/02	2月1日(土)に「がん検診」をテーマとした講演会を開催しました。がん患者と命が懸かるといふ... (PDF形式 / 297 KB)
2015/01/20	「知ろう、闘おうがんのこと」in 大田が放送されます。【2月分勉強会】(PDF形式 / 24 KB)
2015/01/20	島根大学医学部附属病院で「がん検診」をテーマとした講演会を開催しました。(PDF形式 / 266 KB)
2015/01/20	「がん検診」をテーマとした講演会を開催しました。(PDF形式 / 265 KB)
2015/01/14	「がん検診」をテーマとした講演会を開催しました。10月11日(月)に開催しました。(PDF形式 / 1,056 KB)
2015/01/14	2月1日(土)に島根大学医学部附属病院で「がん検診」をテーマとした講演会を開催しました。(PDF形式 / 266 KB)
2015/01/07	「知ろう、闘おうがんのこと」in 大田が放送されます。【1月分勉強会】(PDF形式 / 66 KB)

市町村案内

厚生労働省関係

がん関連団体関係

がんと向き合う

がんサロン



がんになって

治療・相談



島根県の取り組み



ご静聴ありがとうございました